

『かもつれっしゃ、のせて』 2歳児 9月 神功こども園



エピソード

A 児は細長い段ボールを輪にして電車に見立て、「かもつれっしゃ」を歌いながら歩いて遊んでいました。それを見た B 児は A 児のそばに行き、乗りたいことを保育者と一緒に伝えました。すると、A 児は「いいよー」と答え、2人で電車に乗って遊び始めました。A 児は楽しそうに歌い続けていますが、1人で進む時よりゆっくり動いています。B 児はにこにこ A 児の後ろを歩き、保育者を見ると手を振りました。

しばらく歩いた後、段ボールを留めていた洗濯ばさみが外れて、電車が壊れてしまいました。すると B 児は洗濯ばさみをたくさん持って来て、保育者にそれらを渡しました。「これで直すの？」と保育者が尋ねると B 児は大きく頷き、保育者と一緒に洗濯ばさみをつけて修理しました。直ると再び 2人で電車に乗って、笑いながら歩いていました。

この様子を見ていた C 児は段ボールを持って保育者の所に行き、「C くんもする」と言いました。保育者が段ボールを輪にして乗れるようにすると、A 児と B 児の後を追い、「おーい」と呼びながら進んでいく C 児でした。

保育者の思い

B 児は友達と一緒に遊びたい、楽しそうだなと思っているよう。思いをわかりやすく言葉にして、思いが A 児に伝わるようにしましょう。

A 児はゆっくり動いて“調整”している。友達のことを気にしているんだなあ。B 児と一緒に電車に乗れてうれしいことがよくわかる！

壊れたから遊びをやめるのかな？どこに行くのだろう？あつ、洗濯ばさみ！直そうと思ったのか！どうしたら直せるかを考えて、必要なものを取りに行ったんだ、すごい！よし、一緒に直そう。

また 2人で乗れて楽しそうだな。B 児は自分の考えて直せたこともうれしいだろうなあ。

C 児も友達の姿をよく見ている。気になったんだなあ。やりたい気持ちが出てきて、遊びに必要な段ボールを自分で持って来たんだ。

子どもの育ちや学び

- ・友達やしている遊びに興味を持ち、かかわろうとする
- ・自分の思いや考えを行動や簡単な言葉で表す
- ・困ったときはどうしたらいいか、自分なりに考える

家庭だったら・・・

周りの人への興味が広がってきています。友達と遊ぶ場などでは、思いを代弁したり、やりとりに必要な言葉（「一緒にしよう」「このおもちゃ、ちょうだい」「あとでかわるね」等）をお子さんと一緒に言ったりすることで、友達とのかかわり方を知り、楽しく感じるようになっていくと思います。

でも、まだまだ“自分の遊び”が大事なときでもあります。そんなときはゆったり見守ってあげてください。